

# 第3次宗像市行財政改革大綱

[平成27年度～平成31年度]

～将来にわたり安定し、充実した自治体経営を支える改革～



宗 像 市

平成27年3月

---

---

## 目次

---

---

はじめに	1
1 これまでの取組みと環境の変化	2
(1) これまでの取組み	2
(2) 本市を取り巻く環境の変化	2
① 本市の人口推移	2
ア 人口減少時代	
イ 高まる高齢人口比率	
ウ 減り続ける生産年齢人口と年少人口	
② 公共施設等の老朽化	4
2 本市における今後の課題	5
(1) 歳入の減少	5
(2) 歳出の増大	6
(3) 公共施設等の適切な規模と管理	7
3 行財政改革大綱の基本理念と基本方針	8
(1) 基本理念	8
(2) 基本方針	8
① 持続可能な行政経営	8
ア 財政基盤の堅持	
イ 効率的な行政経営	
② 公共施設等の適切な維持更新（アセットマネジメント）	9
(3) 取組事項及び体系	9
4 行財政改革大綱の推進	11
(1) 計画期間	11
(2) 推進体制	11
(3) 情報の共有	11

## はじめに

昨今の社会経済情勢は、少子高齢化や高度情報化、地方分権の進展などが著しく進行する一方で、景気は緩やかな拡大傾向にあるとされているものの、国、地方を問わず財政状況は依然として非常に厳しい環境となっています。また、地方においては、地方分権の進展によって、その責務とともに一層の効率的な行政経営が求められています。

宗像市では、平成15年4月の旧宗像市と玄海町との合併、その後平成17年3月の大島村との合併から10年以上が経過しました。市町村合併は最大の行財政改革とも言われていますが、本市では平成16年度に最初の行財政改革大綱を策定してから10年間、さまざまな改革に取り組み、新市のまちづくりを推進してきました。

しかし今後は、合併に伴う国からの財政支援措置も段階的に終了し、地方を取り巻く社会経済情勢などからも、本市の財政状況はますます厳しくなります。さらに、合併から一定程度の期間が経過していることから、今後は合併による行財政改革の効果に過度に期待しない「合併からの転換」も意識し、新しい手法の検討も視野に入れた改革に取り組んでいかなければなりません。

平成27年度からは宗像市のまちづくりの方向性を示す「第2次宗像市総合計画」が始まります。総合計画では、「ときを紡ぎ 躍動するまち」を将来像に掲げ、企業誘致による雇用の拡大や生産年齢人口獲得のための団地再生、子育て世代に選ばれる都市イメージの確立のための都市ブランドの推進など、新たなまちづくりがスタートします。

このような状況の中、将来を見据え安定した財政基盤を堅持し、継続可能な行政経営を行っていくためには、さらなる行財政改革を推進していく必要があります。従って、これまでに引き続き『将来にわたり安定し、充実した自治体経営を支える改革』を基本理念とした「第3次宗像市行財政改革大綱」を策定し、一層の行財政改革に取り組んでいきます。

## 1 これまでの取組みと環境の変化

### (1) これまでの取組み

本市では、これまで平成17年度から平成21年度までの第1次、平成22年度から平成26年度までの第2次と、10年間にわたって行財政改革大綱に基づく改革に取組み、議員定数の見直しや市民参画条例の制定、部の機能・役割強化などを行い、安定した行政経営に一定の効果をあげてきました(表1)。

《表1 これまでの行財政改革の取組みについて》

大綱次数	主な取組項目	取組件数	効果額※(千円)
第1次 (H17度～21度)  【策定年次】 平成16年12月	<b>「小さな市役所」・「協働」</b> (1)効果的・効率的な行財政運営の推進 ・補助金の見直し ・人事管理の見直し ・議員定数の見直し (2)市民・コミュニティ協働による行政の運営 ・人事管理の見直し ・市民参画条例の制定 ・コミュニティづくりの推進 ・NPOの育成、支援	298件 (1)278件 (2)20件	5,725,550
第2次 (H22度～26度)  【策定年次】 平成22年4月	<b>「ヒト・モノ・カネの一体的改革」</b> (1)人事・組織の改革(ヒトの改革) ・育成型人事制度の確立 ・職員研修の充実 ・部の機能・役割強化 (2)サービスとシステムの改革(モノの改革) ・窓口サービスの充実 ・総合経営システムの推進 ・協働化推進体制の整備 (3)財政の改革(カネの改革) ・財政安定化プランに基づく、健全財政の維持 ・適正課税の推進・収納率の向上	115件 (1)10件 (2)65件 (3)40件 ※H25度末時点	4,079,980 ※H25度末時点

単年度効果額の累計

### (2) 本市を取り巻く環境の変化

#### ① 本市の人口推移

##### ア 人口減少時代

本市では、平成27年度から始まる「第2次宗像市総合計画」の策定にあわせ、本市の人口移動の特性を加味し、独自に人口推計を行っています。

人口推計では、本市の平成26年3月末の住民基本台帳での人口96,

<sup>1</sup> 市民参画条例：平成18年1月1日から施行した「宗像市市民参画、協働及びコミュニティ活動の推進に関する条例」のことをいう。

<sup>2</sup> 総合経営システム：市の経営資源のうち「ヒト」「モノ」「カネ」を最適に配分し、市民満足度を上げていくことを目的としたシステム。目標による管理の考え方を取り入れ、計画(目標の設定)→実施→評価(行政評価、人事考課)と、組織と個人の目標を関連付けて運用していく仕組みのことをいう。

<sup>3</sup> 財政安定化プラン：市財政運営の指針を示した財政収支計画をいう。

164人に対し、本大綱の期間である平成32年3月末には、人口は約1,500人減少し、さらにその10年後の平成42年3月末には約6,000人減少する推計結果となっています。

### イ 高まる高齢人口比率

本市では、平成20年4月末に65歳以上の高齢人口の割合が21%を超え、「超高齢社会<sup>4</sup>」といわれる社会に突入しました。高齢人口の割合は、その後も上昇を続け、平成26年3月末ではその比率は25%を超え、市民の4人に1人が高齢者となりました。人口推計では、平成32年3月末には高齢人口の割合が29%を超え、高齢人口の割合は上昇しつづけることが予測されています。

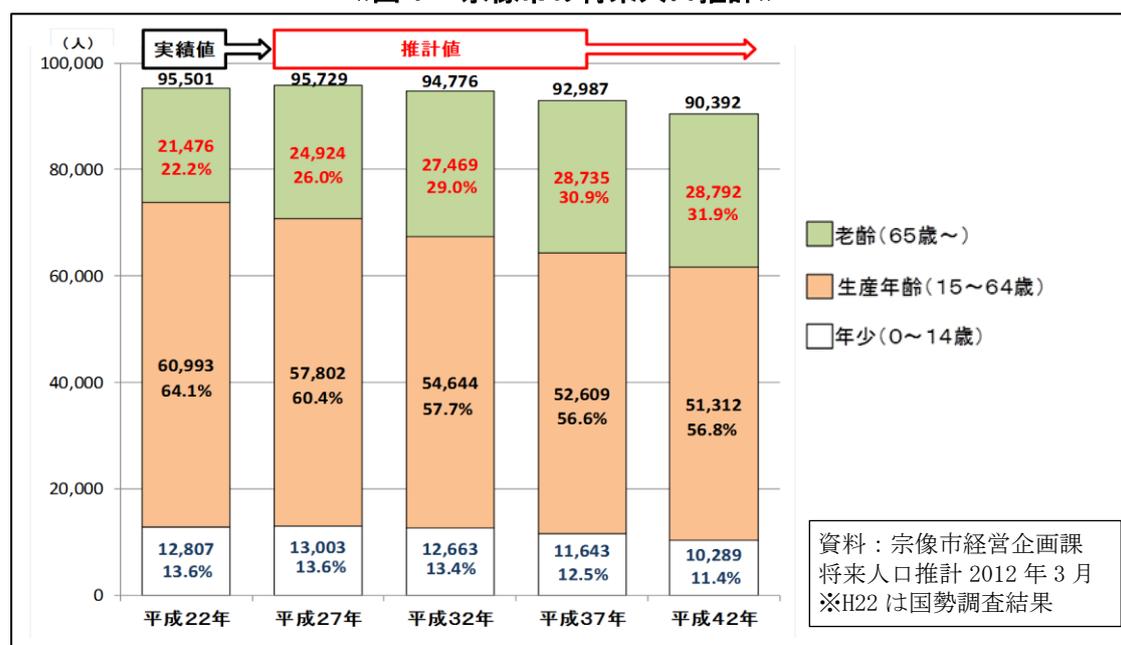
### ウ 減り続ける生産年齢人口と年少人口

働く世代の中心である15歳から64歳の生産年齢人口は、旧大島村と合併した平成17年3月末の63,089人(66.8%)から減り続け、平成26年3月末では58,928人となり、約4,200人の減少となっています。

今後もこの傾向は続き、平成32年3月末には平成26年3月末と比較して約4,300人が減少することが予測されています。

また年少人口もわずかではありますが、減少することが予測されています(図1)。

《図1 宗像市の将来人口推計》

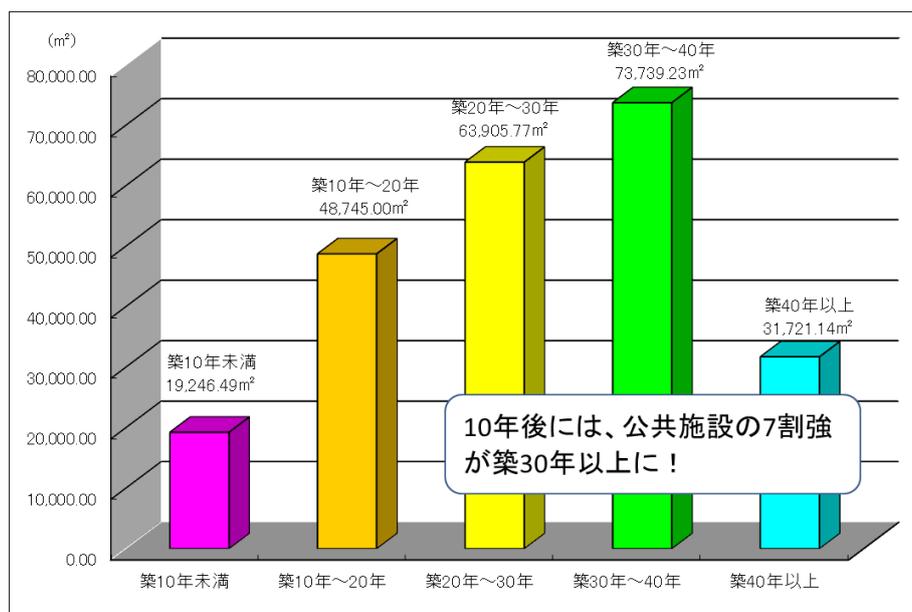


<sup>4</sup> 超高齢社会：世界保健機構（WHO）や国連の定義した、65歳以上人口の割合が全体の21%を超えている社会のことをいう。

## ② 公共施設等の老朽化

本市は学校、コミュニティ・センター、観光施設など様々な公共施設を有していますが、その多くは昭和50年代から平成の初頭にかけて建設されています。これらの施設の老朽化は深刻となっており、10年後には市の保有する公共施設の約7割が築30年以上の建築物となり、更新、改修の時期を迎えることとなります（図2）。

＜図2 宗像市の築年別建物延床面積の内訳（平成23年度末）＞



資料：宗像市公共施設アセットマネジメント基本方針  
(平成24年10月策定)

また、団地の開発等に伴い規模を拡大してきた公共インフラ<sup>5</sup>についても、本来の機能維持や安全性の確保といった、老朽化への対策が大きな課題のひとつとなってきます。

<sup>5</sup> 公共インフラ：インフラ＝インフラストラクチャーの略。福祉の向上、経済の発展に必要な社会的基盤の総称。道路、港湾、橋梁、公園、公営住宅などのことをいう。

## 2 本市における今後の課題

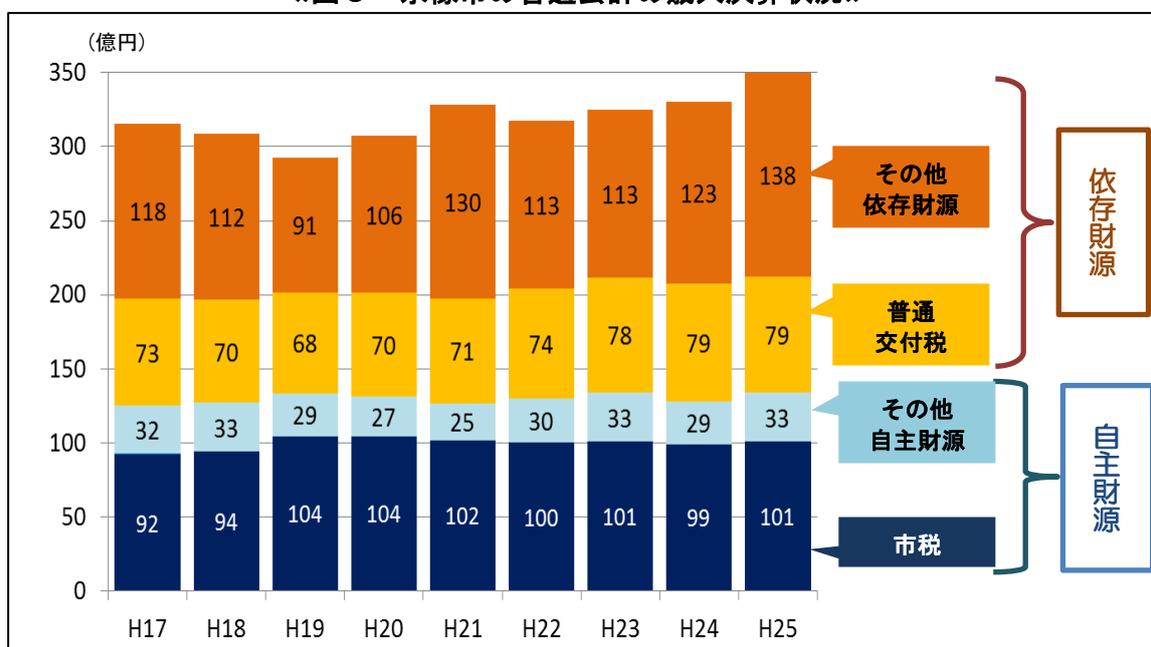
### (1) 歳入の減少

本市における普通会計<sup>6</sup>の歳入は、市が自主的に収入できる自主財源と、国により定められた額が交付される依存財源があります。

主な自主財源のうち市税収入は、人口増加とともに平成20年度まで増加し、約104億5千万円まで増えましたが、近年の景気後退や生産年齢人口の減少により、約100億円近くにまでに減少しています。

一方、主な依存財源のうち普通交付税<sup>7</sup>は、合併算定替<sup>8</sup>により平成25年度決算において約78億6千万円を収入しています(図3)。

《図3 宗像市の普通会計の歳入決算状況》



今後の歳入の見通しについては、生産年齢人口の減少や先行きが不透明な景気の影響から、市税収入の大幅な伸びは見込めない状況です。

また、普通交付税についても、平成26年度からの合併算定替の縮小により、平成32年度は平成25年度と比較して、理論上は単年度で約9億円強の普通交付税が削減される見通しで、歳入の減少が課題となります。

<sup>6</sup> 普通会計：一般的に、個々の地方自治体の財政比較に用いられる会計区分のことで、本市では、一般会計と住宅新築資金等貸付事業特別会計を合算した会計区分をいう。

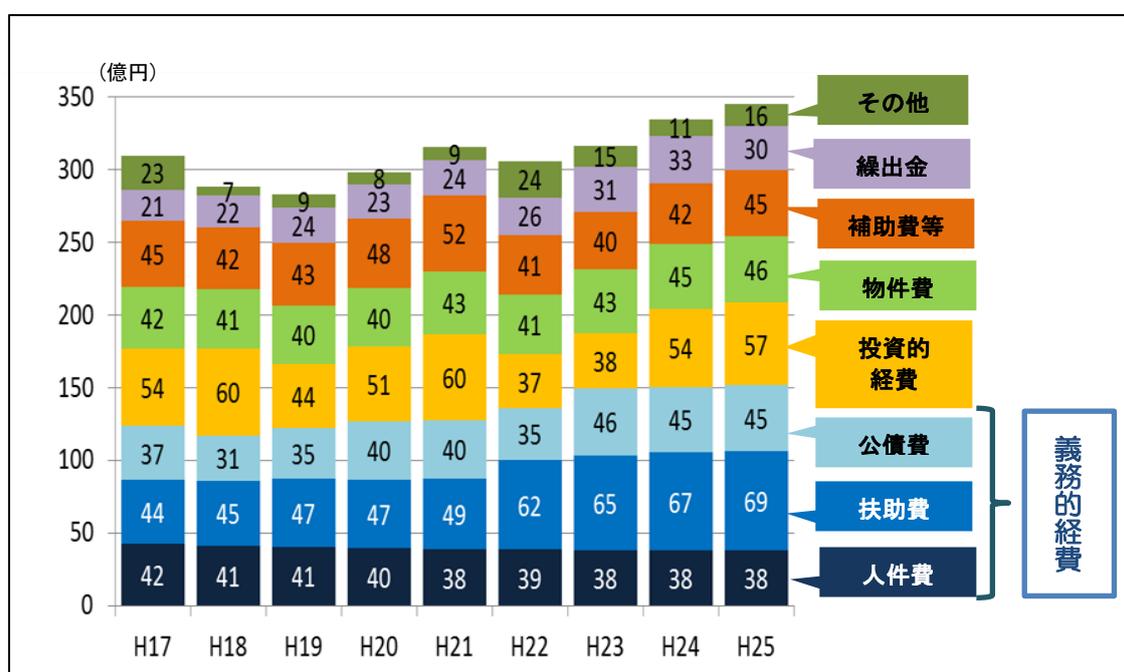
<sup>7</sup> 普通交付税：地方自治体によって行政サービスに極端な差がでないよう国が毎年配分する交付税のことをいう。

<sup>8</sup> 合併算定替：普通交付税において、合併後の新市において算定した額が合併前の市町村ごとに算定した額を下回らないように配分額に配慮することをいう。ただし、配分額は合併11年目から段階的に減らされ、16年目には新市本来の額となる。

## (2) 歳出の増大

普通会計の歳出を性質に応じて分類した経費のうち、人件費<sup>9</sup>、扶助費<sup>10</sup>、公債費<sup>11</sup>は義務的経費といい、支出を義務付けられた経費のため、任意で削減することが難しく極めて硬直性の強い経費です。人件費については合併後、計画的に職員数を削減してきたため圧縮されていますが、児童福祉や障害者福祉の扶助費は増加傾向にあります。加えて、地方債<sup>12</sup>の償還額である公債費も、合併特例債事業債<sup>13</sup>などの返済に伴い平成23年度から支出額が増加しています（図4）。

《図4 宗像市の普通会計の歳出決算状況》



今後の歳出の見通しについては、高齢化による医療や介護などの社会保障に係る経費が今後も増加する傾向が続くことが考えられ、歳出が増大することが課題となります。

<sup>9</sup> 人件費：職員等の給与や手当など、人事関連費用の総額のことをいう。

<sup>10</sup> 扶助費：社会保障制度の一環として、児童・高齢者・障がい者・生活困窮者などに対して、国や地方公共団体が行う支援に要する経費のことをいう。

<sup>11</sup> 公債費：地方自治体が借りた地方債の償還や利子の支払いに関する経費のことをいう。

<sup>12</sup> 地方債：地方公共団体が資金調達のために負担する債務のことをいう。

<sup>13</sup> 合併特例事業債：合併後の新市のまちづくりの基本方針を定めた新市建設計画に基づく事業の財源として借り入れることができる地方債のことをいう。充当率は95%で、元利償還金の70%が後年度、普通交付税に算入される。

### (3) 公共施設等の適切な規模と管理

本市では、昭和50年代以降、人口増加に合わせて道路や橋梁、水道といった都市基盤や、市役所や学校など多くの公共施設が整備され、平成15年の合併後は合併特例事業債を活用しコミュニティ・センターや観光施設、公園などを整備してきました。

また、これまで公共施設等は、壊れた時点で補修するなど対処療法的な維持管理を実施していましたが、これからは計画的に施設の整備や予防保全を行うことで、公共施設等の長寿命化を図っていくことも必要となります。

そのため、更新時期を迎えたものへの対策や老朽化対策、維持管理費用の平準化対策などが求められており、それらの対応が課題となっています。

今後は、現状と課題をきちんと把握、分析し、将来のまちづくりを見据えた、効率的、効果的な公共施設等の維持管理、統合や再配置、廃止なども含めた更新を、計画的に行っていく必要があります。

### 3 行財政改革大綱の基本理念と基本方針

#### (1) 基本理念

将来を見据え安定した財政基盤を堅持し、継続可能な行政経営を行っていくため、『将来にわたり安定し、充実した自治体経営を支える改革』を基本理念とし、行財政改革に取り組んでいきます。

#### (2) 基本方針

前述の「2 本市における今後の課題」で述べてきたように、歳入においては市税収入の伸び悩みや普通交付税の削減、歳出においては扶助費や社会保障関係費の増加など、本市の財政状況はますます厳しさを増していきます。

今後も安定した財政基盤を堅持するためには、歳入に見合った歳出構造へと転換を図る必要があります。そのため、財政運営の指針である「宗像市財政安定化プラン」の取組みとともに、行財政改革の視点からも、一層の改革に取り組んでいかなければなりません。

また、多様化、高度化する市民ニーズに対応するためには、限られた経営資源<sup>14</sup>を効率的に活用する必要もあります。そのため、今後も引き続き効率的な行政経営の改革に取り組んでいく必要があります。

さらには、統合や廃止なども含めた公共施設等の適正な規模の見直しや維持管理についても、計画的に行っていく必要があります。

これらのことから、「第3次行財政改革大綱」では、上記「(1) 基本理念」に基づき、「持続可能な行政経営」、「公共施設等の適切な維持更新（アセットマネジメント）<sup>15</sup>」の二つを基本方針として、従来の手法を継承しつつ、新たな手法の検討も含めた行財政改革に取り組んでいきます。

#### ① 持続可能な行政経営

##### ア 財政基盤の堅持

厳しい財政状況の中で安定した行政経営を行うためには、歳入の減少や歳出の増大といった課題に対応していかなければなりません。

歳入においては、これまで以上の財源確保に取り組むとともに、歳出においても経費削減の取り組みを実施していきます。

<sup>14</sup> 経営資源：ここでは「人」（人材）、「モノ」（行政サービスや施設等の資産）、「カネ」（予算）、「情報」（知的財産）などのことをいう。

<sup>15</sup> 公共施設等の適切な維持更新（アセットマネジメント）：今後の将来人口や財政見直しなどを考慮して公共施設等の最適配置や更新、維持管理などを行うことをいう。

**イ 効率的な行政経営**

多様化、高度化する市民ニーズに対応するためには、限られた経営資源を効率的に活用する必要があります。そのため、民間による行政サービスの提供や内部事務<sup>16</sup>の効率化などの取組みを推進していきます。

**② 公共施設等の適切な維持更新（アセットマネジメント）**

将来世代に過度な負担を残さずに現在の市民サービスを持続的に提供していくために、本市における現状と課題を踏まえ、将来人口や利用見込み、中長期の財政見通しなど総合的な視点から公共施設の総量圧縮に向けた適正化方針を定め、アセットマネジメントを推進していきます。

また、維持管理費の平準化を行いながら長寿命化にも取り組んでいきます。

**(3) 取組事項及び体系**

本大綱による行財政改革を推進するため、前述の「(2) 基本方針」に定める区分に基づき、下表に掲げる取組事項等に取り組んでいきます（表2）。

《表2 具体的な取組事項等》

基本方針	持続可能な行政経営		公共施設等の適切な維持更新（アセットマネジメント）
	財政基盤の堅持	効率的な行政経営	
取組事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな税外収入<sup>17</sup>の確保</li> <li>・受益者負担の適正化<sup>18</sup></li> <li>・事務事業の取捨選択</li> <li>・補助金・負担金の見直し</li> <li>・電算システム調達の最適化</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間による行政サービスの提供</li> <li>・多様な人材の活用</li> <li>・内部事務の効率化</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設等の総量圧縮、複合化、再配置</li> <li>・公共施設等の長寿命化、維持管理費用の平準化</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

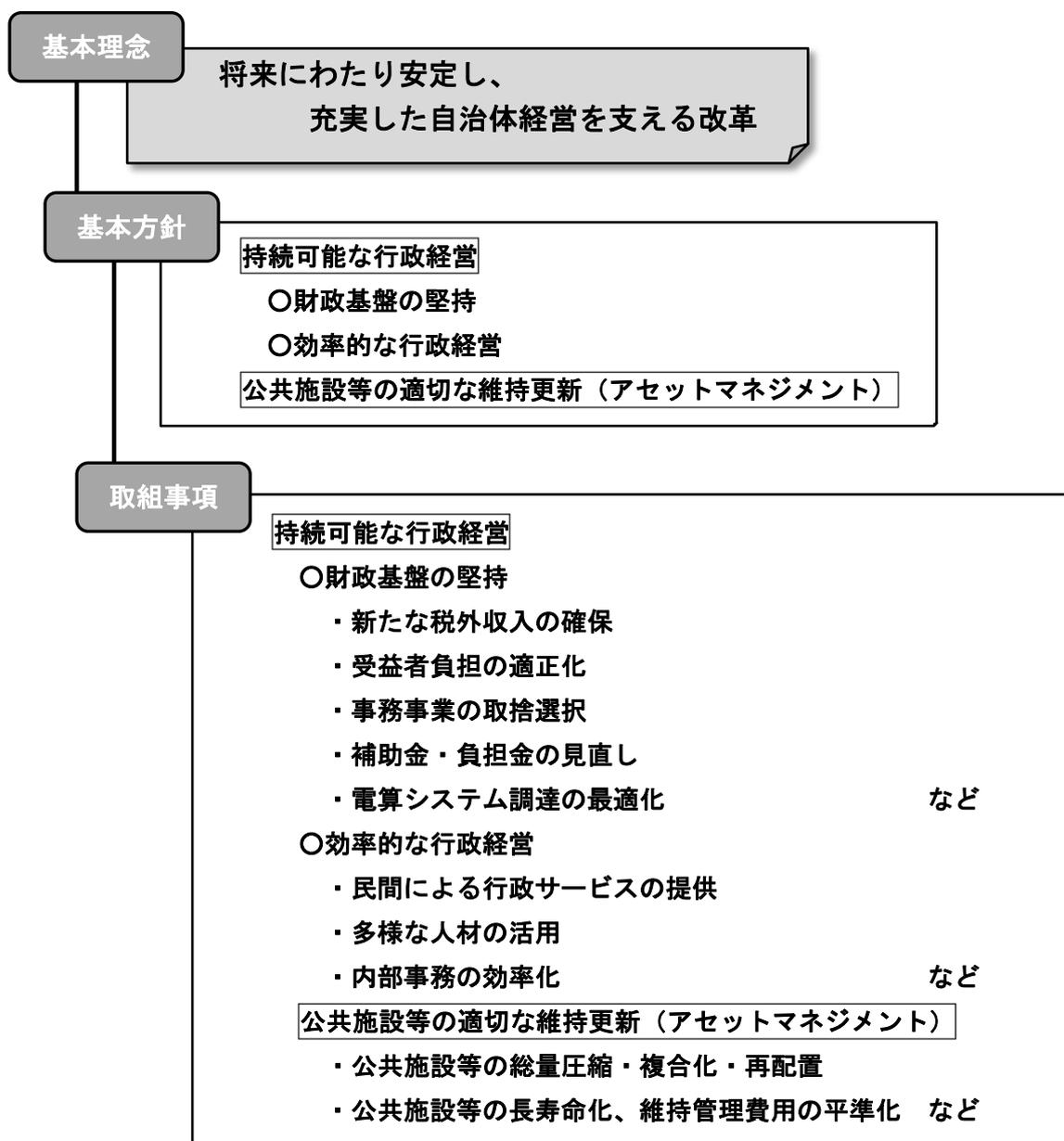
<sup>16</sup> 内部事務：人事給与、財務会計、文書管理、庶務事務などのことをいう。

<sup>17</sup> 税外収入：財政収入のうち税収入および公債、借入金以外のものをいう。

<sup>18</sup> 受益者負担の適正化：行政サービスを利用する人と利用しない人との負担の公平性を確保するため、各種行政サービスにかかる施設利用料や事務手数料などを見直すことをいう。

また、行財政改革大綱の体系を示すと次のようになります（図5）。

〈図5 行財政改革大綱の体系〉



## 4 行財政改革大綱の推進

### (1) 計画期間

本大綱の計画期間は、平成27年度から平成31年度までの5年とします。

### (2) 推進体制

本大綱による行財政改革を推進するため、市長をトップとする行財政改革推進本部を設置し、全庁的に行財政改革を推進していきます。また、具体的な実行計画としてアクションプランを策定し、進行管理を行っていきます。

さらに、有識者や市民委員から構成される行財政改革推進委員会から、行財政改革に対する提言や意見を求めることにより、専門的見地や市民からの視点を取り入れます。

### (3) 情報の共有

行財政改革大綱や具体的な実行計画であるアクションプランの実施状況については、市広報やホームページ等を通じて広く市民に公表し、市民との情報の共有に努めます。

宗像市経営企画部経営企画課行政改革係  
〒811-3492 福岡県宗像市東郷一丁目1番1号  
TEL 0940-36-1192  
FAX 0940-37-1242  
E-mail:kikaku@city.munakata.fukuoka.jp